



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月31日

上場会社名 日本アビオニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6946 URL <https://www.avio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 竹内 正人

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部経理財務部長 (氏名) 高橋 洋志

TEL 045-287-0300

四半期報告書提出予定日 2022年11月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,862	18.5	578	39.1	565	39.4	527	39.6
2022年3月期第2四半期	9,648	5.5	950	177.7	932	226.6	873	170.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 475百万円 (42.1%) 2022年3月期第2四半期 820百万円 (232.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	186.75	157.53
2022年3月期第2四半期	309.36	256.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	22,498	11,240	50.0
2022年3月期	23,059	10,765	46.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 11,240百万円 2022年3月期 10,765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後掲「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	4.0	1,950	5.4	1,900	5.2	1,700	4.6	596.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	2,830,000 株	2022年3月期	2,830,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	4,457 株	2022年3月期	4,037 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	2,824,952 株	2022年3月期2Q	2,824,776 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第1種優先株式					
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期(予想)			—	11.36	11.36
第2種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期(予想)			—	13.76	13.76

(参考) 1. 第1種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。

ただし、計算の結果、第1種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

第1種優先株式配当金=1,000円×(日本円TIBOR+1.0%)

※ 日本円TIBOR・・・毎年4月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オファード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

2. 第2種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。

ただし、計算の結果、第2種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

第2種優先株式配当金=1,000円×(日本円TIBOR+1.25%)

※ 日本円TIBOR・・・毎年10月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オファード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 受注高及び受注残高	9
(2) 売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する経済活動の制限の見直しや各種政策の効果により、緩やかに持ち直しの動きがみられました。しかしながら、ウクライナ情勢が長期化し、世界的な金融引き締めが続く中で急速な円安が進み、原材料価格の上昇や供給面で先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、民間設備投資は持ち直しの動きがみられる中、スマートフォンの需要減や半導体不足等による自動車メーカーの減産に伴い、設備投資意欲の回復に足踏みがみられ、電子機器の関連需要は予断をゆるさない状況となっております。

このような状況においても当社グループは、2022年6月に公表した中期経営計画に基づき、経営基盤強化と成長戦略を推進するため、計画的な研究開発投資を実施するとともに、海外における新たな販路開拓と売上拡大を目的として、タイ（バンコク）に駐在員事務所を開所しました。

連結業績は、売上高は78億62百万円（前年同期比18.5%減）、営業利益は5億78百万円（前年同期比3億72百万円減）、経常利益は5億65百万円（前年同期比3億66百万円減）、親会社株主に帰属する当期純利益は5億27百万円（前年同期比3億46百万円減）となり、前年同期比減はあるものの各利益は年間計画通りに進捗しております。受注残高は111億84百万円（前年同期比37.8%増）と潤沢に確保しており、年間の連結業績予想に変更はございません。

セグメント別の状況

情報システム

情報システムは、大型プロジェクト等の受注促進に努めた結果、受注高は61億93百万円（前年同期比81.9%増）、受注残高は95億87百万円（前年同期比81.1%増）の大幅増となりました。一方、売上高は前年に比べ下期偏重のため49億50百万円（前年同期比8.9%減）、セグメント利益は原価改善に努めた結果、4億25百万円（前年同期比95百万円増加）となりました。

電子機器

電子機器は、接合機器は経済が本格的な回復には至っておらず、スマートフォンや民生機器の需要減により生産設備投資は減少、センシングソリューションは鉄鋼電力等の設備投資計画の見直しに伴う需要減により、売上高及びセグメント利益はそれぞれ減少しました。

この部門の当期の売上高は29億12百万円（前年同期比30.9%減）、セグメント利益は1億52百万円（前年同期比4億68百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億60百万円減少し、224億98百万円となりました。これは主に現金及び預金が4億27百万円、土地が2億55百万円減少した一方、棚卸資産が3億2百万円増加したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ10億35百万円減少し、112億58百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1億72百万円、短期借入金が2億20百万円、流動負債のその他が3億29百万円減少したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億74百万円増加し、112億40百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を5億27百万円計上したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は年間計画通りに進捗、受注残高も111億84百万円と潤沢に確保しており、2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,047	2,620
受取手形、売掛金及び契約資産	9,492	9,301
棚卸資産	3,206	3,509
その他	97	133
流動資産合計	15,844	15,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	580	545
土地	3,847	3,592
その他	264	245
有形固定資産合計	4,692	4,383
無形固定資産	215	197
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	2,217	2,268
その他	108	102
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	2,307	2,352
固定資産合計	7,215	6,933
資産合計	23,059	22,498

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,186	3,014
短期借入金	1,970	1,750
未払法人税等	294	114
賞与引当金	839	745
製品保証引当金	105	85
工事損失引当金	—	12
その他	988	659
流動負債合計	7,384	6,380
固定負債		
長期借入金	1,900	1,900
繰延税金負債	306	340
再評価に係る繰延税金負債	993	993
退職給付に係る負債	1,558	1,493
その他	150	150
固定負債合計	4,909	4,877
負債合計	12,293	11,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,895	5,895
資本剰余金	—	4
利益剰余金	2,051	2,580
自己株式	△6	△13
株主資本合計	7,940	8,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	1
土地再評価差額金	2,254	2,254
退職給付に係る調整累計額	569	516
その他の包括利益累計額合計	2,825	2,772
純資産合計	10,765	11,240
負債純資産合計	23,059	22,498

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	9,648	7,862
売上原価	6,624	5,354
売上総利益	3,024	2,507
販売費及び一般管理費	2,073	1,929
営業利益	950	578
営業外収益		
技術指導料	2	3
その他	4	2
営業外収益合計	6	6
営業外費用		
支払利息	20	13
その他	4	5
営業外費用合計	25	19
経常利益	932	565
特別利益		
土地売却益	—	83
特別利益合計	—	83
特別損失		
固定資産除却損	0	4
特別損失合計	0	4
税金等調整前四半期純利益	932	644
法人税等	58	116
四半期純利益	873	527
親会社株主に帰属する四半期純利益	873	527

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	873	527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
退職給付に係る調整額	△53	△52
その他の包括利益合計	△53	△52
四半期包括利益	820	475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	820	475
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（棚卸資産の評価方法の変更）

棚卸資産のうち、製品、原材料及び貯蔵品に係る評価方法は、従来、先入先出法による原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、総平均法による原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。

この評価方法の変更は、第1四半期連結会計期間より新基幹システムの導入を契機に、棚卸資産の評価及び期間損益計算をより適正に行うことを目的に実施したものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であり、遡及適用は行っておりません。

（追加情報）

（グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用）

当社及び連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	情報システム	電子機器	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,432	4,216	9,648
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,432	4,216	9,648
セグメント利益	329	621	950

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	情報システム	電子機器	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,950	2,912	7,862
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,950	2,912	7,862
セグメント利益	425	152	578

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 受注高及び受注残高

(単位：百万円)

	前年同四半期 2022年3月期 第2四半期累計		当四半期 2023年3月期 第2四半期累計		(参考) 2022年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
情報システム	3,405	5,295	6,193	9,587	12,545	8,344
電子機器	4,441	2,820	2,344	1,596	7,686	2,163
合計	7,847	8,115	8,538	11,184	20,231	10,507

(2) 売上高

(単位：百万円)

	前年同四半期 2022年3月期 第2四半期累計		当四半期 2023年3月期 第2四半期累計		(参考) 2022年3月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
情報システム	5,432	56.3%	4,950	63.0%	11,218	58.3%
電子機器	4,216	43.7%	2,912	37.0%	8,012	41.7%
合計	9,648	100%	7,862	100%	19,230	100%

(注) 海外売上高は以下のとおりであり、内数であります。

(単位：百万円)

	前年同四半期 2022年3月期 第2四半期累計		当四半期 2023年3月期 第2四半期累計		(参考) 2022年3月期
	海外売上高		海外売上高		海外売上高
情報システム	196		104		443
電子機器	2,661		1,856		5,121
合計	2,858		1,960		5,564
海外売上高の連結売上高に占める割合	29.6%		24.9%		28.9%